

令和4年度 福祉用具サービス業務従事者講習会
【テーマ別講習】実施日程表

◆テーマ別講習 (定員:各回30名)(裏面[注]参照)

回	開催日時 推薦締切日	テーマと講師	内 容
1	R4.9.8 (木) 9:30 ~ 16:30 締切 R4.8.25	褥瘡の予防と対策 高齢者生活福祉研究所 加 島 守	褥瘡（じょくそう＝いわゆる床ずれ）は、ベッドや車いすで過ごすことの多い高齢者、障害者に多く見られます。深刻化しやすい褥瘡を発生させないための基礎知識と予防のための福祉用具の選び方と使い方などの実技を交えて体圧分散について学びます。
2	R4.9.27 (火) 9:30 ~ 16:30 締切 R4.9.13	高齢者の車いす 福祉技術研究所 市 川 洸	歩行が困難な方を「寝かせきり」にしないため、様々な車いすが利用されます。自走式、介助用、標準型、モジュール型、リクライニング、電動など、多種類の車いすについて、実際に体験しながら、その特徴、目的に合った正しい選定、適合の知識を学びます。
3	R4.10.4 (火) 9:30 ~ 16:30 締切 R4.9.20	移乗1 トランスファボードと スライディングシート 福祉技術研究所 市 川 洸	立ち上がりや歩行が困難な方がベッドから離れて過ごすことは、心身の自立や活動性の低下防止に極めて重要です。移乗の第1部は、介護力の低下で「寝かせきり」にしないためにも、介護負担を軽減し、利用者に安楽で、安全で正しい移乗を実習を交えて学びます。
4	R4.10.25 (火) 9:30 ~ 16:30 締切 R4.10.11	歩行補助具の選び方と使い方 望月彬也リハデザイン 望 月 彬 也	機能低下や傷病により歩行に支障がある方を補助する杖や歩行器。無理なく安全に歩くためには身体状況にあったものを選ぶことが必要です。杖、歩行器、シルバーカーそれぞれの機能に合った正しい選び方・使い方を他種目の用具を活用しながら学びます。
5	R4.11.8 (火) 9:30 ~ 16:30 締切 R4.10.25	ヒヤリハット情報に学ぶ福祉用具の安全な利用 とちぎノーマライゼーション研究会 伊 藤 勝 規	介護現場には欠くことのできない福祉用具、日常生活場面でも普及が進む中、その安全な利用の確保は、支援専門職の共通課題です。リスクマネジメントの基礎からヒヤリハットの要因分析手法などを、演習を交えて学びます。
6	R4.12.2 (金) 9:30 ~ 16:30 締切 R4.11.18	住宅改修と改修計画 とちぎノーマライゼーション研究会 伊 藤 勝 規	高齢者、障害者の自立支援には、福祉用具の活用とともに、安全に配慮しながら活動を引き出す適切な住宅改修が大きな意義を持ちます。生活範囲を拡大することで身体機能の維持にも効果が期待できます。場面別の整備ポイントを学び、具体的な改修案を検討します。

(裏面あります→)

◆テーマ別講習（定員:各回30名）

回	開催日時 推薦締切日	テーマと講師	内 容
7	R5.1.20（金） 9:30 ～ 16:30 締切 R5.1.6	排泄の仕組みと福祉用具 日本コンチネンス協会 牧野 美奈子	極めて日常的な生命活動である排泄も、身体機能の低下した高齢者・障害者にとっては、生死に関わる大きな問題となる場合があります。排泄のメカニズムを知り、デリケートな課題でもある排泄の適切な支援の方法と福祉用具について学びます。
8	R5.1.26（木） 9:30 ～ 16:30 締切 R5.1.12	移乗2 リフト 福祉技術研究所 市 川 冽	移乗の第2部は、居宅、施設を問わず大きな役割を果たすリフトについて理解し、多種類の吊り具の違いや使い方を実習を交えて学びます。移乗第1部と併せて受講することで、利用者の身体機能と介護力にあった移乗について理解が深まります。

- [注]
- ・受講申込方法、受講対象等は、別添開催通知をご覧ください。
 - ・新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、各回の講習会の内容や定員については変更になる場合があります。
 - ・随時、財団ホームページ（<https://www.fukushizaidan.jp/>）にて御確認ください。
 - ・福祉用具の実技の見学に変更される場合がありますので、御了承ください。
 - ・会場・受付
（公財）東京都福祉保健財団 研修室3・4（新宿区西新宿2－7－1 小田急第一生命ビル19階）